

タイトル

サブタイトル

林坂弘一郎

神戸学院大学 経営学部

2023 年度

- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ ブロック
- ④ 数式, 図, 表
- ⑤ フォント, 色の指定, その他スタイルの指定とアニメーション
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション

- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ ブロック
- ④ 数式，図，表
- ⑤ フォント，色の指定，その他スタイルの指定とアニメーション
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション

はじめに

- Beamer のサンプルです

- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ ブロック
- ④ 数式, 図, 表
- ⑤ フォント, 色の指定, その他スタイルの指定とアニメーション
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション

箇条書き

- 番号なしの箇条書きです
- 番号なしの箇条書きです
- 番号なしの箇条書きです
- 番号なしの箇条書きです

番号付き箇条書き

- ① 番号付きの箇条書きです
- ② 番号付きの箇条書きです
- ③ 番号付きの箇条書きです

箇条書きのレベル

- 箇条書きのレベル 1 です
 - 箇条書きのレベル 2 です
 - 箇条書きのレベル 3 です
 - 箇条書きのレベル 4 はエラーになりそうです
 - 箇条書きのレベル 2 です
 - 箇条書きのレベル 2 です
- 箇条書きのレベル 1 です

箇条書きのレベル

- ① 箇条書きのレベル 1 です
 - ① 箇条書きのレベル 2 です
 - ① 箇条書きのレベル 3 です
 - ② 箇条書きのレベル 4 はエラーになりそうです
 - ② 箇条書きのレベル 2 です
 - ③ 箇条書きのレベル 2 です
- ② 箇条書きのレベル 1 です

- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ **ブロック**
- ④ 数式，図，表
- ⑤ フォント，色の指定，その他スタイルの指定とアニメーション
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション



ブロック (block)

ブロック

- ブロック (block) 環境を使ってみます.
- ブロック (block) 環境を使ってみます.

警告ブロック (alertblock)

警告ブロック

- 警告ブロック (alertblock) 環境を使ってみます.
- 警告ブロック (alertblock) 環境を使ってみます.

定理 (thm)

Theorem 4.1

- 定理 (thm) 環境を使ってみます.
- 定理 (thm) 環境を使ってみます.
- 定理 (thm) 環境を使ってみます.
- 定理 (thm) 環境を使ってみます.

Proof.

証明は proof 環境です. 証明は proof 環境です. 証明は proof 環境です. 証明は proof 環境です. 証明は proof 環境です. 自動的に証明おわりの記号が右端に出力されます. □

命題 (proposition)

Proposition 4.2

- 命題 (*proposition*) 環境を使ってみます.
- 命題 (*proposition*) 環境を使ってみます.
- 命題 (*proposition*) 環境を使ってみます.
- 命題 (*proposition*) 環境を使ってみます.

例題 (exam)

Example 4.3

- 例題 (exam) 環境を使ってみます.
- 通常のブロック要素と色が異なることに注意してください.

注 (remark)

Remark 4.4

- 注 (remark) 環境を使ってみます.
- 通常のブロック要素と色が異なることに注意してください.

問題 (question)

Question 4.5

- 問題 (question) 環境を使ってみます.
- 通常のブロック要素と色が異なることに注意してください.

問題 (prob)

Problem 4.6

問題

- 問題 (prob) 環境を使ってみます.
- 通常のブロック要素と色が異なることに注意してください.

問題 (prob)

Problem 4.7

- 問題 (prob) 環境を使ってみます.
- 通常のブロック要素と色が異なることに注意してください.

- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ ブロック
- ④ 数式, 図, 表
- ⑤ フォント, 色の指定, その他スタイルの指定とアニメーション
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション

数式

- 数式 $F(x)$ は \LaTeX の書き方がほぼ使えるはず

$$F(x) = \int_0^x f(t)dt \quad (1)$$

- 数式番号が不要であれば

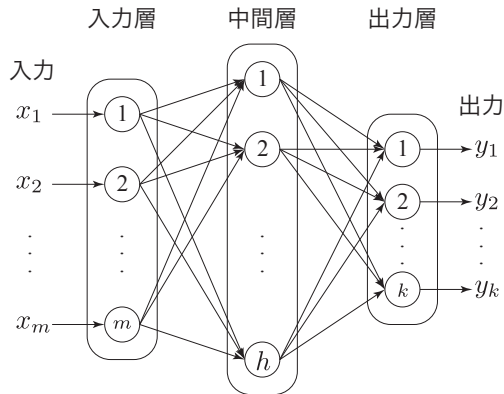
$$F(x) = \int_0^x f(t)dt$$

- 複数行の数式もちろん可能

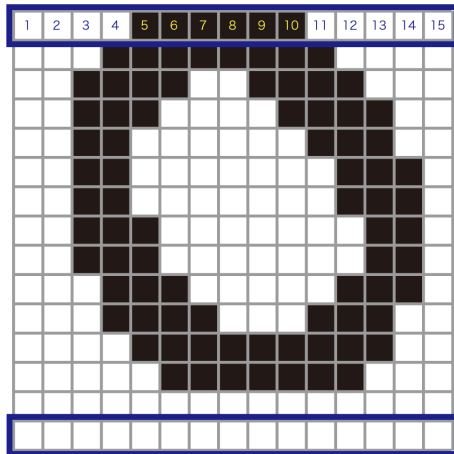
$$\begin{aligned} F(x) &= \int_0^x f(t)dt \\ &= 1 - e^{-\lambda x} \end{aligned}$$



画像 (PDF 形式) の読み込み



画像（PNG形式）の読み込み



表

中央揃え	左揃え	右揃え
2018	AAAAA	22222
2019	AA	2222
2020	AAAAA	22
2021	AAAAAAAAAAA	222
2022	A	2



- ① はじめに
- ② 箇条書き
- ③ ブロック
- ④ 数式, 図, 表
- ⑤ **フォント, 色の指定, その他スタイルの指定とアニメーション**
 - フォントと色
 - 背景の変更
 - 配置の変更
 - 段組
 - アニメーション

フォントや色を指定する

- 通常のフォントはゴシック (Gothic 01234) です.
- **太字のゴシック体**です.
- かな文字を明朝体 (minc 01234) に変更できます.
- Roman
- 色 (blue) を変更します.
- 色 (magenta) と書体を (red) 変更します.
- **beamer@kgured** と **beamer@kgubblue** を定義しています.
beamer@kgubblue はヘッダのロゴと同色です

背景を変更

- このページだけ背景を変更します

箇条書きの配置をページの上部に

- t オプションを指定すると箇条書きが上部に配置される
- t オプションを指定すると箇条書きが上部に配置される

アニメーション

- アニメーションを使います.

アニメーション

- アニメーションを使います.
- 2つ目の項目です.
- ページ番号は変化しないことに注意してください.

アニメーション

- アニメーションを使います.
- 2つ目の項目です.
- ページ番号は変化しないことに注意してください.
- 3つ目の項目です.

アニメーション（順序の指定）

- アニメーションを使います.

アニメーション（順序の指定）

- アニメーションを使います.
- 3つ目の項目です.

アニメーション（順序の指定）

- アニメーションを使います.
- 2つ目の項目です.
- 3つ目の項目です.

おわり

- 以上 Beamer のサンプルでした